

第2回

C-DAM CONFERENCE

定員150名

参加費無料

発足から3年を経過し、先端医療開発コンソーシアム(C-DAM)は

参加機関が5大学から10大学へ拡大しました。

本会では活動の総括と新規参加機関の強み、

「藤田preA」支援課題からの

ステージアップ事例を紹介します。

2025 **12.9** [火]

10:00-12:00 [開場9:30]

会 場 ▶ ウィンク あいち
5階 小ホール2

対 象

C-DAM参加大学の教職員・
研究活動に関わる者・研究支援者等

愛知学院大学

岐阜薬科大学

藤田医科大学

Smart and Human
摂南大学

名城大学

国立大学法人
名古屋工業大学

国立大学法人
奈良先端科学技術大学院大学
NARA INSTITUTE OF SCIENCE and TECHNOLOGY

千葉工業大学
CHIBA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

静岡県立大学法人
静岡県立大学
UNIVERSITY OF SHIZUOKA

星薬科大学
HOSHINO UNIVERSITY

問い合わせ先：藤田医科大学 事務局 研究支援部 TEL:0562-93-2641 Mail:c-dam@fujita-hu.ac.jp

主催：先端医療開発コンソーシアム(C-DAM)

共催：藤田医科大学 橋渡し研究統括本部

10:00-10:05 開会挨拶

10:05-10:15 C-DAM活動の振り返り

藤田医科大学 学長/C-DAM理事長 岩田 仲生

10:15-10:45 C-DAM加盟大学のご紹介

静岡県立大学 副学長 賀川 義之

星薬科大学 学長 牛島 俊和

座長: 岐阜薬科大学 薬物動態学研究室 教授 北市 清幸

10:45-11:45 「藤田preA」支援シーズの進捗紹介

① 藤田医科大学大学院 医療科学研究科 レギュラトリーサイエンス分野 准教授 國澤 和生

② 岐阜大学大学院 連合創薬医療情報研究科 准教授 遠藤 智史

③ 摂南大学 副学長・薬学部長・教授 佐久間 信至

座長: 奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 メディクス研究センター センター長 細川 陽一郎

藤田医科大学 橋渡し研究シーズ探索センター 室長 山崎 晃

11:45-11:55 令和8年度「藤田preA」公募について

藤田医科大学 橋渡し研究統括本部 拠点統括 佐谷 秀行

11:55-12:00 閉会挨拶

藤田preA支援シーズの進捗紹介

多発性硬化症の病態改善を目的とした新規低分子化合物の開発

演者① 藤田医科大学大学院 医療科学研究科 レギュラトリーサイエンス分野 准教授 國澤 和生

多発性硬化症をはじめとする脱髄性疾患は、神経軸索を覆う髄鞘が破壊(脱髄)されることで神経伝達が障害され、運動機能障害などの不可逆的な神経障害を引き起こす難治性疾患である。我が国において、脱髄性疾患の多くはアンメット・メディカルニーズの高い指定難病に位置づけられており、国内外で患者数が増加していることから、医療的・社会的負担は極めて大きい。このため、神経修復(髄鞘再生)を直接促進する治療薬へのニーズは非常に高い。本講演では、脱髄性疾患に対して髄鞘再生を促進しうる根治療法の開発を目指した新規低分子化合物の創薬研究について紹介したい。

プロテアソーム阻害剤の治療効果を最大化する新規分子戦略の開発

演者② 岐阜大学大学院 連合創薬医療情報研究科 准教授 遠藤 智史

がん細胞はユビキチン/プロテアソーム系に強く依存しており、悪性リンパ腫に対してはボルテゾミブなどのプロテアソーム阻害剤が有効である。しかし、高頻度の耐性化や固形がんへの効果不十分が大きな課題となっている。その要因の一つとして、DNA damage inducible 1 homolog 2(DDI2)によるNF-E2-related factor 1の切断を介したプロテアソーム機能代償機構(Bounce back)が挙げられる。本研究では、プロテアソーム阻害剤の治療効果を最大化し、適用範囲を拡大することを目的に、DDI2阻害剤の探索および開発に取り組んだ成果を報告する。

膜透過ペプチド固定化高分子を用いたバイオ医薬の細胞内/経粘膜デリバリー

演者③ 摂南大学 副学長・薬学部長・教授 佐久間 信至

膜透過ペプチド固定化高分子は、バイオ医薬を中心とする低膜透過性薬物の細胞内取り込みや経粘膜吸収を促進するDDSツールである。薬物と単に混合して細胞膜や粘膜上に適用するだけで、薬物のモダリティ(低分子有機化合物、ペプチド、タンパク質、抗体、核酸、遺伝子等)や物性(分子量、等電点等)に依存しない吸収促進効果を示す。経鼻ほか、患者が投薬管理できる粘膜投与型製剤の開発を可能とする膜透過ペプチド固定化高分子は、薬物療法の多様な選択肢を臨床現場に提供し、注射剤のみの既存の薬物療法に変革をもたらす。

令和8年度「藤田preA」公募のご案内

藤田医科大学拠点では、革新的な医療技術の創出を目指し、独自の支援プログラム「藤田preA」を実施しております。

令和8年度「藤田preA」を下記の通り募集いたします。

公募期間: 令和8年1月19日(月)～
令和8年2月20日(金) 正午

申請書・募集要項等 ▶



問合せ先 ▶

